



CLINICALPATH NEWS

Japanese Society for Clinical Pathway
日本クリニカルパス学会

No.
14

発行日
2005年9月10日

in 兵庫

姫路赤十字 “パス祭り” に参加して

市立三次中央病院 看護師 中井晋平

4.22

驚きました。平成11年に姫路赤十字病院にパスが導入されると、すぐに“パス祭り”が開催されていたことです。さらに、それ以後毎月行われていたことも、パス祭りに参加していない人にも情報提供できるよう“パス便り”という新聞が作成されていることにも、またまた驚きました。パス祭りを一回開くだけでも多くの時間と労力を費やしますが、それを続けているのは素晴らしいことです。病院全体で一丸となってパスに取り組む姿勢にただただ驚きと感動を覚えました。

パス祭りでは、「頰椎椎弓形成術」と「人工股関節全置換術」について発表がなされました。ワークシートにはセラピスト記入欄が組み入れられており、リハビリ目標の達成状況を記載できるようにされていました。発表にもありましたが、私も病棟でのADLとリハビリ室でできているADLの差があることを感じたことがあります。リハビリの経過が医療従事者（看護師・医師・療法士）でリアルタイムに共有できることは、患者の状態を把握する上でとても有用だと思います。

パスの使い方では“おやっ”と思ったものがあります。患者用パスを入院診療計画書としても使用していることです。リハビリが関与するパスではリハビリ実施計画書も兼ねているようで、1枚で3役を果たせる工夫は参考になりました。この方法だと、手間も紙数も減らせるだけでなく、何よりも、他職種間で統一された確かなインフォームドコンセントと開かれた医療、そして安全なチーム医療に繋がると感じました。

今田光一先生の講演『電子カルテ導入・パス電子化の泣



き笑い～覚悟と心構えを伝授します～』では、電子カルテの考え方から導入に際しての工夫などが紹介されました。パソコン入力が苦手なスタッフへの配慮や、パソコンのフリーズなどで電子カルテが使用できなくなった場合の対応など参考になるものばかりです。将来的に電子カルテ（ペーパーレス）があたりまえの医療環境になった時には、逆に紙カルテ使用方法の研修会を開くなどの対応策が必要になってくるかもしれない、そんなことを考えながら講演を拝聴しました。

また、NSTや禰創対策チームなどがアセスメントを行うためのツールとして使用できるように、データベース作成機能を電子カルテ内に導入しているとありました。これは当院でも是非真似してみたい機能です。当院ではまだ電子カルテが導入されていませんので、ファイルメーカーでデータベースを作成し応用してみようと思います。パスを上手に使うためには、書式の工夫やシステムの改善とともに、スタッフみんなで力を合わせる事が大切なのだと実感しました。今回は、パス作成・運用の参考になっただけでなく、パスに対するモチベーションが高まりました。よし、これからも頑張っってパスに取り組んでいこう。



in 大阪

第1回箕面市立病院パス大会 見学会に参加して

5.14

関西医科大学附属病院 医療情報部 病歴情報課 北村 臣

五月晴れという言葉がまさにあてはまる天気のもと、5月14日（土）に箕面市立病院にて、第1回パス大会見学会が開催されたのでご報告いたします。

まず、当大学でも講師としてお世話になっている吉川宣輝病院長の挨拶と豊島博行副院長の病院紹介に続き、三宅浩之主査の「電子クリニカルパスの説明」です。私どもの大学は2006年1月に枚方新病院を開院し、附属病院として初の電子カルテシステムを導入予定のため、そのシステム・運用について興味津々です。豊富な端末や無線LAN、充実した電子パス運用は羨ましい限りでした。

さて、いよいよパス大会です。「大腸右半結腸切除術パス」のテーマで三宅泰裕外科医長の発表から始まり各コメディカルのレベルの高い発表が続き、最後に医事課森川氏よりDPCを踏まえた点数比較が発表されました。DPC協力病院ということですが、いつ導入されても対応可能という体制がうかがえ、また各職種間コミュニケーションも十分にとれていることが感じられました。パス大会初参加の私としては、完成度の高さに驚くばかりです。

第二部は飯島正平クリニカルパス推進委員長が座長となられ、パス侍の...、もとい黒部市民病院 今田光一先生のご登場です。「パスづくり 七転び八起き～過去・現在・未来～」のテーマで、黒部市民病院が歩いてこられたパス作成、紙パス運用、パスの電子カルテシステム搭載、今後



クリニカルパスのあるべき姿との内容で講演がなされました。噂の「ヒロシ」くんも登場し、場内は大爆笑でした。

病院見学会では病棟とシステム見学に分かれましたが、私は院内改修工事中にもかかわらず、病歴管理室を見学させて頂きました。電子カルテシステムのためカルテが散乱していることもなく（これは私の病院だけ？）、日々の業務内容まで詳細に説明して下さいました。

このパス大会で得た情報は、すぐに自院で導入したいことばかりですが、今田先生が話された「腕と心」はパスや電子カルテでは磨けない。黒部市民のパスを他施設にそのまま持ち込んでも病院規模・スタッフ数などが異なるから上手くいかないよ。」の言葉を胸に、夢ばかり見ず自身と自院の状況を見直して、一步一步ステップアップしていこうと思います。クリニカルパスの勉強だけでなく診療情報管理士としても大変有意義な一日でありました。

最後になりましたが、飯島先生はじめパス委員会スタッフの皆様、快く病歴業務を説明して下さいました佐々木さんなど、多くの方々にお世話になりました。早く自院でも公開パス大会が開催できるよう切磋琢磨してまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。ありがとうございました。



in 福井

第1回福井総合病院パス大会見学会に参加して

5.21

氷見市民病院 看護師 丸山美智子

5月21日、初夏というよりは真夏日に近い暑さの中、福井総合病院のパス大会見学会に参加しました。まずは、参加者の自己紹介から始まりました。いくつかのパス大会に参加しましたが、初めてのことで戸惑いました。病院名と名前を言うのがやっとなで、恥ずかしがりや（人見知り）の私にとっては心臓がドキドキして声が上がっていたと思います。

最初の病院長の話は貢献度？を色と太さで示す新しい統計学のような話もあり、知らないうちに聞き入っていました。

次の教育システムの紹介では、院内における指定研修制度と自主研修制度について説明がありました。自主研修制度の中での特典は、「センター内外の研修会・学会に参加・発表すると単位が得られる。得られた単位は、翌年の研修会等参加時の出張命令などに使用することができる。」という内容でした。自己研修の成果が翌年還元されるという羨ましい制度です。

「アウトカムの設定」では、医療ケアの最終アウトカムは退院という漠然としたものではなく、退院基準（誰もがわかる具体的な最終達成目標）を充たして退院することであったと学びました。

アウトカムの設定方法には「医療者の話し合い」「EBMの使用」「過去のデータを参考に医療を標準化して設定」という方法があり、各方法の長所・短所を示してくれました。「医療の標準化」は作業に時間はかかるが、作成後の受け入れがスムーズであり、他職種の業務の理解にもつな



がることがわかりました。

当院では、どちらかという、「たまたまその場所にいる医療者の話し合い」で作成されることが多く、いざ使おうとすると苦情の嵐、そのうちにパスは消えるというパターンが多くありましたので、今後の活動の参考にしようと思いました。

次の「ヴァリエーション」では、収集と分析・対応までの学びがありました。福井総合病院では「オールヴァリエーション」方式を採用されていました。

当院では、要因分類までなかなか行われていないのが現状ですが、特定の医療者や、病院のシステムが原因だと思っても記載できないことが多々あります。また、分類で悩み1つに決定できず、最終的に闇に葬ってしまう事例もあったかと思えます。しかし、複数の要因を記載できるシステムであれば、ヴァリエーションが記載しやすいということがわかりました。午前中だけでも盛りだくさんの学びを得た後、本格的なパスカンファレンスが場所を移動して始まりました。

総論演題・課題演題「頸椎椎弓形成術」「褥瘡パス」・一般演題と発表があり、熊本済生会病院の副島先生の特別講演「クリニカルパスとTQM」で閉会しました。私は氷見市民病院内における一看護師として、個人的に参加しました。素敵なチーム医療を行うために、氷見に帰ったらまず、（整形外科に興味を持ってくれそうな）医師や病棟スタッフを探してみたく思います。充実した有意義なパスカンファレンスを企画してくださいました福井総合病院様・学会関係者様・そして快く送り出してくださいました病棟スタッフに感謝いたします。



- ▶ クリニカルパス教育セミナー（名古屋）
- ▶ クリニカルパス教育セミナー（熊本）
- ▶ 第13回済生会熊本病院パス大会見学会

in 愛知

クリニカルパス教育セミナー 「もっと知りたい！クリニカルパス - 先駆的 病院に学ぶその実践」に参加して 6.18

岐阜大学医学部附属病院 医療情報部助教授 白鳥義宗

2005年6月18日(土)に名古屋市吹上ホールにて、クリニカルパス教育セミナー「もっと知りたい！クリニカルパス」が開催されました。1週間前の熊本会場での教育セミナーに続いての開催となっていました。熊本に優るとも劣らぬ盛況ぶり、午後1時から2回の休憩を挟み5時間近くの間、多くの方々が熱心に勉強し討論に参加されました。参加者はもちろん愛知県の方ばかりではなく、全国いろいろなところからこの会のためにお集まり頂いたのだと思います。私は別の学会からのハシゴで、少し遅れて会場入りしましたが、すでに会場は静かながら熱い熱気に包まれ、希望された方々が多かったためと思われませんが、補助席も動員して精一杯大勢入れるようにと工夫した運営となっていました。

その日のそれぞれの副題やキーワードを見て頂くようなテーマに沿った話であったかがおわかり頂けると思います。1) 院長のためのパス講座、2) 記録とパスとチーム医療、3) 電子カルテとパス、4) アウトカムとバリエーション分析、5) DPCとパス。これを須古先生、吉田先生、今田先生、副島先生、立川先生というその道の第一人者の5人が、ユーモラスになおかつ現場の雰囲気を盛り込みながら、楽しくわかりやすくお話をしてくれました。そして座長の先生方も現場で御苦労されてきた先生方らしく細やかな心配りをされ、暖かな雰囲気を醸し出す司会となっていました。(あとから講師の先生方に「熊本に続いて2回目なので、話の流れもよりうまくいった。」とお聞きし、名古屋で聞いた我々はより得した気分でした。)

きっとどこの病院でも「こういう話をうちの病院の



先生・ さんに聞かせたい！」と思う内容ばかりが並んでいました。そう、この会に参加している熱心な方よりも本当に聞かせたい相手は他にいるのかもしれませんが、でも、そういう人達にこういうふうには話をすればいいのか！とか、このように業務を改善し、少しずつでも病院を変えていくことを目指すんだ！というヒントがちりばめられていたように思います。お話ししてくださった先生方の話術に気持ちよくなり、おかしく笑いながら、そんなヒントを自然と身につけて帰ってこられる。そんな素晴らしい会だったと思います。(ホント不思議なことにパス学会の講師の先生方は「エンタの神様」や吉本興業からスカウトされ、副業で食べて行けそうな方々ばかりですね。)

最後に講師・座長の先生方、そして学会事務局のみなさんお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。これからも楽しくためになる会を会員のためにどんどん企画してください。会員のみなさんも頑張って参加しましょうね！

● ● ● ● ●

in 熊本

クリニカルパス教育セミナー 「もっと知りたい！クリニカルパス - 先駆的 病院に学ぶその実践」 6.11



熊本で開催されたクリニカルパス教育セミナー。大盛況の会場。

in 熊本

第13回済生会熊本病院パス大会 見学会に参加して

8.10 ~ 11

佐々総合病院 外科医長 藤間利之

8月10日から11日にかけて、新しく綺麗な済生会熊本病院に於いて公開パス大会が開かれました。初めての熊本への旅。一泊二日の缶詰状態で、熊本城を見学しただけの旅でしたが、沢山のお土産を持って帰ることができました。稚拙な文章で申し訳ありませんがお土産の一部を披露したいと思います。

須古院長のご挨拶で公開パス大会は始まりました。次いで、副島副院長よりアウトカム志向のオーバービューパスと日めくりパスの構造と記録様式についてご説明をいただき、バリエーション分析と医療の質の改善についてやさしく解説していただきました。そして堀田さんからは日めくり記録と看護記録の整合性、アウトカムとタスクの用語統一の重要性などを説明していただきました。済生会熊本病院のパスを簡単に説明すると、「指示機能を持ったオーバービューパスと、アウトカムに連動したタスクや観察項目を設定した日めくりパスを活用して、情報の共有化を行いバリエーションに対する評価分析が一目でわかるようにした」パスです。素晴らしいのは、アウトカムに関連した観察項目に同じコードを付けることで、アウトカムと観察項目の関連性がよく理解できる点。そしてバリエーションに対する分析や対応の記録が非常に見やすくなっている点です。

さらに凄いことに、パス作成のソフトまで開発されました。10年間にも及び済生会熊本病院の皆様の血と汗と涙の結晶が込められたこのソフトを、大会二日目に体験させていただきました。その秀逸な出来栄に「このソフトが広く使われたら全国的な規模のバリエーション分析ができてしまうぞ。」なんて想像したのは私だけでしょうか。このソフトは9月にネクスト・ケア・システムズから「クリニカルパス作成支援ソフトpath team lite」の名前で発売されるそうです。因みに問い合わせはネクスト・ケア・システムズ社のホームページ<http://www.e-ncss.jp>から可能です。

日めくりパスを作る労力も大変なことだし、アウトカムのコード化や言語の統一なども一から始めるとなると膨大な労力を必要として大変だぞ。と私と同じ思いの方にはきっとお勧めですよ。

パス大会では二次性副甲状腺機能亢進症に対する副甲状腺摘出術パスの発表がありました。医師からは外来 病棟 手術室 病棟 外来 後方病院の連携パスの構想を伺いました。画像診断部からはCTと超音波検査、シンチグラ



ムの副甲状腺描出能をコスト面から検討しシンチグラムの適応を決定したこと、検査科からは1日2回のカルシウム値の測定を1回にできないか検討した結果を、薬剤部からは経口抗菌剤の術前投与法を血中濃度から検討した結果を、そして看護部からは高カルシウム血症に対する治療のアルゴリズムを作成したことを発表していただきました。一疾患の治療に病院全体でEBMを実践しようとする姿勢がよく現れた発表でした。

須古先生、副島先生、堀田さん他済生会熊本病院のスタッフの皆様、貴重なご発表ありがとうございました。お陰様で知識のお土産を沢山持って帰ることができました。そしてタクシー代をまけてくれた運転手さん、熊本人の優しさを感じました。

最後に一言。11月11日に私ども佐々総合病院でも公開パス大会を開かせていただきます。結腸パスを発表する予定です。皆様のご参加をお待ちいたしております。



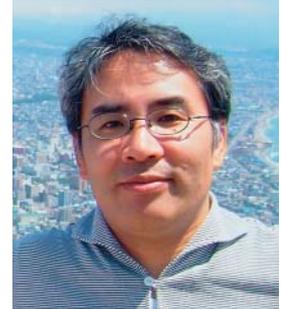
リレーエッセイ 第8回
臨床パスとの出会い

函館五稜郭病院客員診療部長
北美原クリニック院長

岡田 晋吾

パス学会が設立されたのが1999年だったと思う。駒場エミナースで開かれた第一回パス学会は参加者1000人不足で会場もがらんとしていた。私も内科医の弟と一緒に行く学会というだけでゴルフの帰りに少し寄っただけであった。そこで何故か阿部先生の話が一番前で聞いてしまいこの世界に引きずり込まれた。今でこそパス＝岡田という感じだがきっかけは言うのも恥ずかしいくらいである。あれからたかだか6年くらいでパスは全国的に広がり、私が眉唾だなんて聞いていた(失礼)小西先生の『パスのない病院は壊滅する』という言葉とおりになった。パスの形式や考え方も進歩しており効率化のためのものから5年前に副島先生が札幌の居酒屋で熱く話されていた「質の管理」のための必須のツールとなっている。今やパスの本は巷にあふれておりパスの作り方、利用の仕方がすぐわかるようになってきている。我々が始めたころよりパスの世界に入り込みやすい時代になったと思う。しかし私がお邪魔して講演する施設の中にはパス委員がパスオタクになってしまっていて逆にパスの導入の妨げとなられていると思うこともある。パスの本質はコミュニケーションツールとして捉えるならば悲しい結果かもしれない。作りにくいもしくは使にくいかわうこいいパスよりもみんなに受け入れやすく作りやすいパスから始められる方が恩恵を被るスタッフ、患者が増えることになるだろうと思う。稚拙でもいいとにかく一つでも作ってもらってパスの考え方、使い方を覚えてもらい、それからかわうこいいパスに進化させても遅くないし、その方がパスの意義を感じられるのではないかとも思う。私のパスに対する考えも6年前に比べるとずいぶん変わった。パスだけでなく何よりも医療に対する考え方が変わったと思う。そして昨年開業して今も大きく変わり続けている。開業医から見た医療と病院から見た医療はずいぶん違う。パスを患者と医療者とのコミュニケーションに使うだけでなく原点に戻って医療者同士のコミュニケーションツールとしての役割をもっと生かしてほしいと思う。そして地域で働く開業医、訪問看護師、福祉関係者の意見を入れた連携パス作りが顔の見える連携につながり、患者さんの生活の質向上につながることで医療関係者の生き残る道だと思うこのごろである。パスは相手に対する思いやり精神が重要と思う。看護師さんの仕事に対する思いやり、患者さんに対する思いやり、同僚の医師に対する思

いやりがパスから感じ取れたら形式にこだわらずいいパスだと言えるのではないかなと思っている。パスの世界に飛び込んでパスと言う共通の趣味？で全国いろいろな方々と知り合って医療の問題点について話してきた。そしていろいろ知恵をいただいたと思う。私が講演に行つてうれしいと思うのは地域でがんばっている人たちと一緒に飲んで話し、『もうやめようかと思っていたけど先生の話聞いてまたがんばれます』と喜んでもらった時である。講師への思いやりかも知れないがやりくりしたスケジュールで入つてよかったと思う。残念ながら毎週多くの方々と一緒にお酒を飲みすぎて学会場でお会いしても飲んだことだけ覚えていてどこの病院の方かは忘れてることが多い、というわけでは非学会場で声をかけられる時は梅錦と一緒に飲んだですとかカツオのタタキをおごつたですとかバリアンスのカツオですなど頭に付けていただけると思い出しやすいのでお願いしたい。



岡田 医師

- 次は国立病院機構 四国がんセンターの船田千秋先生です。





事務局から



活動報告

4月22日	姫路赤十字病院第37回パス祭り & パス学会共催セミナー
5月14日	第1回箕面市立病院パス大会見学会
5月20日	第19回編集委員会
5月21日	第1回福井総合病院パス大会見学会
6月11日	クリニカルパス教育セミナー（熊本）
6月18日	クリニカルパス教育セミナー（名古屋）
7月15日	第20回編集委員会
7月30日	薬剤師のための クリニカルパスセミナー（北海道）
8月10日 11日	第13回済生会熊本病院パス大会見学会

今後の活動予定

9月2日(金) 3日(土)	第4回前橋赤十字病院パス大会見学会（群馬）
9月3日(土)	薬剤師のためのクリニカルパスセミナー（宮城）
9月16日(金)	第21回編集委員会
9月22日(木)	薬剤師のためのクリニカルパスセミナー（新潟）
10月8日(土)	薬剤師のためのクリニカルパスセミナー（愛媛）
10月21日(金) 22日(土)	第4回東北厚生年金病院パス大会見学会（宮城）
10月29日(土)	薬剤師のためのクリニカルパスセミナー（福岡）
11月11日(金)	第1回佐々総合病院パス大会見学会（東京）
11月18日(金)	第22回編集委員会
12月2日(金) 3日(土)	第6回日本クリニカルパス学会学術集会（新潟）

第6回 日本クリニカルパス学会学術集会

会期：平成17年12月2日(金)・3日(土)
会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
新潟県新潟市万代島6番1号 TEL：025-246-8400(代)
会長：佐藤 博 (新潟大学医歯学総合病院教授・薬剤部長)
テーマ：DPC時代が求める患者本位の医療とは
- 地域疾病管理から医薬品・材料などの物流管理まで -



第6回日本クリニカルパス学会学術集会会場朱鷺メッセ周辺

プログラム概要

- | | | | |
|----------------------|---|---------------------|---|
| <p>招待講演1</p> | <p>「オーストラリアのクリニカルパスとリスクマネジメント
そしてクリニカルガバナンス」(仮題)
Mary Potter Forbes</p> | <p>教育講演1</p> | <p>「クリニカルパスと医療者労働環境
患者安全が守られるための職場環境」 阿部 俊子</p> |
| <p>招待講演2</p> | <p>「MDアンダーソンがんセンターにおける
がん治療とクリニカルパス」(仮題) 上野 直人</p> | <p>教育講演2</p> | <p>「クリニカルパスと記録
データベースとしての記録体系」 道端 由美子</p> |
| <p>特別講演1</p> | <p>「これからの病院が必要とする医療の質と経営管理」
山本 敏博</p> | <p>教育講演3</p> | <p>「個人情報保護法における医療のあり方」(仮題)
井川 澄人</p> |
| <p>特別講演2</p> | <p>「医療の質評価とクリニカルパス」 岩崎 榮</p> | <p>教育講演4</p> | <p>「DPCの評価と医療管理」 伏見 清秀</p> |
| <p>特別講演3</p> | <p>「医療訴訟から見た病院経営(運営)への提言」(仮題)
西内 岳</p> | <p>教育講演5</p> | <p>「ストックからフローへ、フローからトータルコスト管理へ、
院内物流システムの意義」 宇都 由美子</p> |
| <p>特別企画</p> | <p>「患者状態適応型パス 医療の質安全保証と質経営」
オーガナイザー：飯塚 悦功</p> | <p>教育講演6</p> | <p>「クリニカルパスから広がる薬剤師業務」 飛野 幸子</p> |
| <p>市民公開講座</p> | <p>「中井美穂さんと医療を語ろう」
中井 美穂、小西 敏郎 他</p> | <p>教育講演7</p> | <p>「災害時に機能する組織づくり
新潟県中越地震の体験を通して」 淡路 記伊</p> |

その他、シンポジウム・ワークショップ・一般演題・ポスター展示・パス展示など

学会参加事前申込受付中

参加申込締切日：平成17年10月31日(月)
オンライン演題登録：平成17年7月26日(火)～平成17年9月6日(火)
締切日を延期しました。
学術集会の詳細に関しては、学会ホームページ「学術集会」
<http://www.jscp.gr.jp/meeting/index.html>
をご覧ください。

お問い合わせ

第6回日本クリニカルパス学会学術集会事務局
新潟大学医歯学総合病院薬剤部内 (小野田・荒川)
〒951-8520 新潟県新潟市旭町通1-754
TEL：025-227-2789 FAX：025-227-0802
E-mail：cp6niiga@med.niigata-u.ac.jp